

証券コード6674

GSユアサ

2008年3月期
中間決算説明会

www.gs-yuasa.com

1

I . 2008年3月期 中間連結決算の概要

2

2008年3月期中間連結決算概要



GS Yuasa Corporation

(単位:億円)

	2007.9 中間期	2006.9 中間期	増減額
売上高	1,376	1,207	169
営業利益	Δ7	11	Δ18
経常利益	Δ15	10	Δ26
中間純利益	Δ16	9	Δ26

3

2008年3月期中間連結決算概要の主な増減要因



GS Yuasa Corporation

(単位:億円)

項目	増減
売上高	169
● 価格改定	123
● 販売量の拡大	46
経常利益	Δ26
● 鉛調達価格の上昇	Δ146
● 価格改定	123
● その他	Δ3
(プラス要因 : 合理化、経費削減など マイナス要因 : 関係孫会社・持分法会社の損益変化)	

4

セグメント別業績推移①売上高・営業利益

売上高

(単位:億円)

	電池及び電源			照明	その他	合計
	国内		海外			
	自動車用電池	産業電池電源装置				
2007.9中間期	342	264	607	74	86	1,376
2006.9中間期	326	245	444	80	110	1,207
増減額	16	18	163	△6	△23	169

営業利益

(単位:億円)

	電池及び電源			照明	その他	消去または全社	合計
	国内		海外				
	自動車用電池	産業電池電源装置					
2007.9中間期	△32	16	12	3	0	△7	△7
2006.9中間期	△13	15	13	4	△1	△7	11
増減額	△19	0	△0	△1	2	0	△18

セグメント別業績推移②国内自動車用電池

(単位:億円)

	売上高	営業利益
2007.9中間期	342	△32
2006.9中間期	326	△13
増減額	16	△19

売上高の増減要因

- 値上げ
- 不採算品の整理・辞退

営業利益の増減要因

- 鉛価格高騰 △50億円
- 値上げ 28億円

セグメント別業績推移③国内産業電池・電源装置

(単位: 億円)

	売上高	営業利益
2007.9中間期	264	16
2006.9中間期	245	15
増減額	18	0

売上高の増減要因

- 値上げ
- 据置用電池、フォークリフト新車用電池の増加

営業利益の増減要因

- 鉛価格高騰 $\Delta 16$ 億円
- 値上げ 16億円

7

セグメント別業績推移④海外

(単位: 億円)

	売上高	営業利益
2007.9中間期	607	12
2006.9中間期	444	13
増減額	163	$\Delta 0$

売上高の増減要因

- 値上げ
- 販売量の拡大
- ニッケル水素電池事業の移管及び連結範囲の変更

営業利益の増減要因

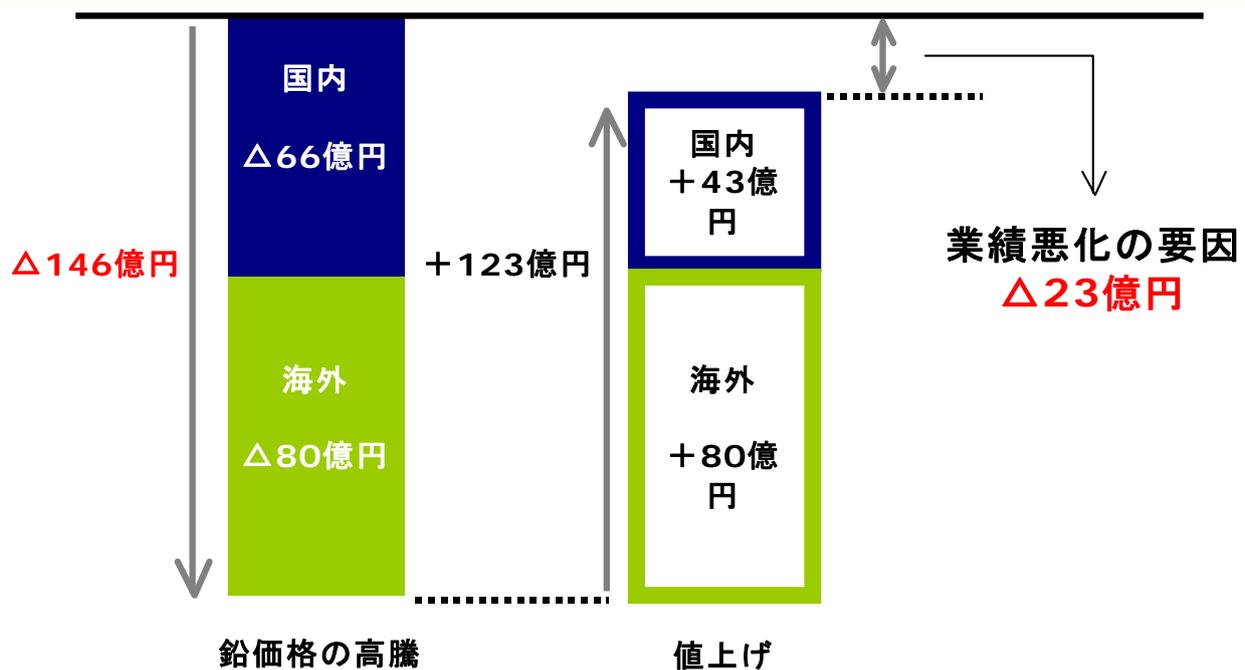
- 鉛価格高騰 $\Delta 80$ 億円
- 値上げ 80億円

8

セグメント別業績推移⑤鉛価格の推移



鉛建値と売価改定の影響



セグメント別業績推移⑥照明

(単位: 億円)

	売上高	営業利益
2007.9中間期	74	3
2006.9中間期	80	4
増減額	△6	△1

売上高・営業利益の増減要因

- 施設照明と紫外線応用装置分野で市況悪化

セグメント別業績推移⑦その他

(単位: 億円)

	売上高	営業利益
2007.9中間期	86	0
2006.9中間期	110	△1
増減額	△23	2

売上高の増減要因

- 特機事業の売上拡大
- ニッケル水素電池事業の移管による減少

営業利益の増減要因

- 特機事業の売上拡大

連結貸借対照表①(資産の部)

(単位:億円)

科 目	当 中 間 期 末 (2007年9月期)	前 期 末 (2007年3月期)	増 減
[資産の部]			
流動資産	1,299	1,277	21
現金及び預金	74	63	10
受取手形及び売掛金	618	642	△24
たな卸資産	481	426	54
その他	125	144	△18
固定資産	1,295	1,265	30
有形固定資産	803	773	30
無形固定資産	27	28	△0
投資その他の資産	464	463	1
繰延資産	0	0	△0
資産合計	2,595	2,543	52

13

連結貸借対照表②(資産の部)主な増減の内訳

(単位:億円)

項 目	増減
流動資産	21
受取手形及び売掛金	△24
たな卸資産	54
(鉛高騰の影響による在庫金額増加)	
固定資産	30
有形固定資産	30
設備投資	36
減価償却費	△38
連結範囲の変更等	32
投資その他の資産	1
投資有価証券(時価評価など)	△7
繰延税金資産等	8
資産合計	52

14

連結貸借対照表③(負債、純資産の部)



GS Yuasa Corporation

(単位:億円)

科 目	当 中 間 期 末 (2007年9月期)	前 期 末 (2007年3月期)	増 減
[負債の部]			
流動負債	1,236	1,154	81
支払手形及び買掛金	255	294	△38
短期借入金	693	503	190
コマーシャルペーパー	41	60	△18
一年以内償還社債	-	50	△50
未払金	125	139	△13
その他	119	106	12
固定負債	495	530	△34
社債	-	-	-
長期借入金	254	287	△32
退職給付引当金	60	57	3
その他	181	186	△5
負債合計	1,732	1,685	47
[純資産の部]			
資本金	165	165	-
資本剰余金	383	383	-
利益剰余金	51	78	△27
その他	263	230	32
純資産合計	862	857	4
負債純資産合計	2,595	2,543	52

15

連結貸借対照表④(負債、純資産の部)主な増減の内訳



GS Yuasa Corporation

(単位:億円)

項 目	増減
支払手形及び買掛金	△38
長期・短期借入金	89
負債合計	47
利益剰余金	△27
評価・換算差額等	21
少数株主持分	10
純資産合計	4
負債純資産合計	52

16

(単位:億円)

	2007.9 中間期	2007.3 通期	増減額
有利子負債	989	900	89

有利子負債の主な増減内訳

- 調達資金の増加 49億円
- 連結範囲の変更 20億円
- 為替差額等 11億円

Ⅱ. 2008年3月期 下期の事業計画と課題

(単位:億円)

	上期実績	下期見込	通期見込
売上高	1,376	1,624	3,000
営業利益	△7	72	65
経常利益	△15	70	55
純利益	△16	46	30

(単位:億円)

	上期実績	下期見込	通期見込
売上高	342	457	800
営業利益	△32	22	△10

下期課題

- 自動車電池事業再生2ヵ年計画
- 補修用電池の値上げ

● 自動車電池事業再生2カ年計画 初年度の取り組み

- 生産拠点を2.5工場に集中
- 新車用電池の鉛スライド制の短縮化
- 不採算品の整理・辞退
- GSユアサブブランド品の浸透強化



● 補修用電池の値上げ

実施時期: 2007年12月

値上げ幅: 自動車用 25%以上 二輪用 15%以上

(単位: 億円)

	上期実績	下期見込	通期見込
売上高	264	335	600
営業利益	16	53	70

下期課題

- 値上げによる収益確保
- 生産の安定化と品質の向上

(単位: 億円)

	上期実績	下期見込	通期見込
売上高	607	692	1,300
営業利益	12	12	25

下期課題

- 鉛価格高騰に対する迅速な値上げ
- アジア地域の事業再構築

(単位: 億円)

	上期実績	下期見込	通期見込
売上高	74	75	150
営業利益	3	1	5

下期課題

- 省エネランプ「エコセラ」シリーズの拡販
- 液晶基板向けDUV(紫外線照射装置)の拡販



Ⅲ. 2008年3月期の 業績予想

25

2008年3月期セグメント別業績予想

売上高

(単位: 億円)

	電池及び電源			照明	その他	合計
	国内		海外			
	自動車用 電池	産業電池 電源装置				
2008.3予想	800	600	1,300	150	150	3,000
2007.3	693	604	907	160	240	2,607
増減額	106	△4	392	△10	△90	392

営業利益

(単位: 億円)

	電池及び電源			照明	その他	消去 または 全社	合計
	国内		海外				
	自動車用 電池	産業電池 電源装置					
2008.3予想	△10	70	25	5	0	△25	65
2007.3	△29	77	28	10	△3	△15	67
増減額	19	△7	△3	△5	3	△9	△2

26

(単位:億円)

	2008.3 予想	2007.3	増減額
売上高	3,000	2,607	393
営業利益	65	67	△2
経常利益	55	55	0
当期純利益	30	41	△11

2008.3期末配当 : 年5円(当初予想通り)

27

Next to you

エネルギー、環境社会での技術革新が進むなか、電池技術を通じて社会のニーズに応え、企業価値の最大化を追求します。

28

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

IRに関するお問い合わせ先

京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1

広報室 課長 谷川 浩一

TEL: 075-312-1214